



社協 はこね

編集・発行
 社会福祉法人 箱根町社会福祉協議会
 〒250-0311 箱根町湯本855
 電話 0460-85-9000
 F A X 0460-85-6888
 e-mail hakosha-vc@poem.ocn.ne.jp
 ホームページURL https://hakone-shakyo.jp/



☆にこにこ号運行開始☆ ～生活支援コーディネーター活動報告～



令和元年度より開始していた「仙石原地区地域のことを話し合う会」から、仙石原地区内で運行する「コミュニティバスにこにこ号」が誕生しました。

「高齢になり、運転免許証を返納する方が増えており、使いやすい日常の移動手段が必要になっている」という地域課題に対応するための“住民の皆さんと地域の福祉施設、社会福祉協議会の連携による活動”です。

仙石原地区の話し合う会では運行に向けた話し合いを重ね、住民の意見を聴くためのアンケート調査を実施しました。また、運行ルートの検討では、話し合う会メンバーで試運転をするなどの手順で「必要な人に使いやすく」「まずはやってみる」ということを意識して準備を進めました。



～この活動には住民の皆様からの会費が充てられております～

- 運行日時 毎週（木）10：00～14：30
- 料 金 無料
- 利用方法 箱根町社会福祉協議会（85-9000）で利用登録（初回のみ）

ご利用を希望される方
 くわしくはこちらまで

- 協力団体
 仙石原地区自治会連合会
 仙石原地区民生委員児童委員協議会
 介護老人保健施設デンマークイン箱根
 介護付き有料老人ホーム アレンジメントケア箱根仙石原



運行に関わる「話し合う会」の皆さん

☆運転ボランティアさん随時募集中！

～赤い羽根共同募金へのご協力お願いします～

赤い羽根共同募金が、10月1日から3か月間にわたって始まります。

共同募金は地域福祉推進のため、町社会福祉協議会で児童・高齢者・障がい者の方への支援や、ボランティア育成の事業に使われるほか、民間の社会福祉施設等の整備費に使われています。

今年も戸別募金をはじめとして、法人募金、職域募金、校内募金を実施させていただくほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネットによる募金も受け付けております（詳しくは本会ホームページをご覧ください）。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします。



大平台地区社会福祉協議会が設立

平成29年から活動している大平台あじさいの会の生活支援活動を中心に、「大平台地区社会福祉協議会あじさいの会」が設立されました。

同地区社協には、大平台自治会・女性会・民生委員・ボランティアの方々に参加されており、大平台地区内で庭の草刈り・見回り訪問・買い物支援・ゴミ出し等の生活支援活動が実施されています。今後は地区内のレクリエーション活動等も企画検討する予定となっています。



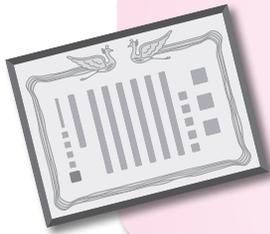
見回り訪問（食品配付つき）



公園の美化活動



食品配付の準備



令和3年度 社会福祉功労者顕彰 顕彰者



例年、社会福祉大会内で実施している「箱根町社会福祉功労者顕彰式典」については、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、本年度も式典を中止致しました。

賞状及び記念品については顕彰者の方々を個別に訪問して、贈呈させていただきました。

区分	名前	所属	顕彰理由
表彰	勝 俣 達 夫	箱根町民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員永年勤続 (主任児童委員含む)
	武 石 恵美子		
	勝 俣 直 子		
	椿 裕 治	社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団 箱根老人ホーム	福祉施設永年勤続
	浅 利 修		
	田 中 美佐子	株式会社 安養	
	桐 川 美千代	社会福祉法人 そうあい 特別養護老人ホーム なごみの郷	
	石 垣 初 美		
	山 本 房 子	社会福祉法人 箱根町社会福祉協議会 理事及び評議員	
村 上 ちず子			

受賞された皆様には心よりお祝い申し上げます。(敬称略・順不同)

～ご寄附の報告・紹介～

住民の皆様よりいただいたご寄附を紹介いたします。
いただいたご寄附については、ご趣旨を体しまして有効かつ適切に使用させていただきます。ご協力に心よりお礼申し上げます。

木藤シマ子 様	5,000円
関 昭次郎 様	介護用おむつ、おしり拭き、衣類
湯場商店会 ゆうの会 会長 井島 草博 様	20,000円
原 真弓 様	食料品
チーム糸へん 代表 茂村ひとみ 様	七夕吹き流し (32個)
ダスキンヘルスレント 小田原ステーション 様	除菌スプレー (2本) アルコールジェル (6本)
むつみ会 会長 松井 洋子 様	5,000円
匿名 4件	42,142円
匿名 2件	ストーブ (2台) マスク (50枚×40箱)



～七夕吹き流しを持つチーム糸へん様～

こどもたちのしあわせのために ～里親制度をご存知ですか～

子どもの成長には、家庭で暮らす時間や経験がとても大きな役割を担っています。さまざまな事情により自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。そうした子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解で成長のサポートをする人が「里親」です。地域で健やかに育つ場を作ってみませんか。



- 回答記入
- ①里親=養子縁組ではありません。里親を希望される人の環境に合わせて様々な里親活動があります。
 - ②所定の研修受講等一定の要件を満たしていれば特別な資格は必要ありません。
 - ③子どもの養育費として里親手当、生活費、学校教育費など、必要経費が支給されます。
 - ④できます。お仕事をしながら(共働きを含む)活動している方もいます。
 - ⑤できます。必要な知識を研修で学び、児童相談所や里親会、里親支援専門相談員が随時支援します。

＼お気軽にご相談ください！

問い合わせ

児童養護施設 箱根恵明学園 TEL 0460-82-2861
小田原児童相談所 里親担当まで TEL 0465-32-8000(代)

■里親講座のお知らせ■

日時：令和3年10月13日(水) 10:00～12:00
場所：小田原市合同庁舎 2DE会議室
内容：①里親制度説明 ②施設で生活する子どもたちについて ③里親体験談
申し込み：小田原児童相談所 TEL 0465-32-8000(代)
※新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合もあります。

令和2年度事業報告 (主な取り組み)

令和2年度の取り組みとして、少子高齢化・人口減少社会の進展に伴い、地域社会や家族機能が大きく変化する中、複合化する様々な福祉課題に対し、地域全体で支え合うことを目指した「地域共生社会」の実現を目指し、社会福祉協議会本来の目的である地域福祉の推進の役割を發揮できるよう、「心豊かで生きがいのある福祉のまちづくり」に向けこれらの取り組みを行いました。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、コロナ禍での新たなつながりづくり、生活支援を重点的に行い、状況に応じた柔軟な対応を行いました。

主な取り組み

●「新型コロナウイルス感染症に係る生活支援・新しいつながり作り」 (資金貸付事業・共同募金配分金事業他)

令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少や、学校の休業、地域のつながりの希薄化など、住民の皆さまの生活に多大な影響がありました。

社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症に起因する様々な福祉課題に対し、即応・柔軟な取り組みを行いました。

主な取り組みとしては、収入の減少による生活困窮等の困りごとに対し、生活福祉資金の特例貸し付けの相談及び事務手続きを行い、1,500件を超える相談対応を行いました。そのほか、フードバンクと連携した食料のおすそわけ事業「ゴンとお母さんからのおすそわけ」など複合的な支援を行っています。

また、町内小学校の休校時の支援として、子育て世帯への臨時配食事業「はこね社協のはらぺこ救助隊」を2回にわたり実施しました。町内企業へお弁当の協力をお願いし、社協職員により子供たちの見守り・子育て世帯の相談対応を兼ねて配食を行いました。そのほか、地域住民の方と協力して実施した「ドライブシアター」や、クリスマスには例年実施していた「みんなのクリスマス会」が行えずつながりが途切れてしまわぬよう、ボランティアの皆さまや地域企業等の協力を得て、クリスマスカードの交換を主としたケーキのプレゼントを行いました。

コロナ禍において、福祉の重要性・つながりの大事さを再認識し、新しい形でのつながりや支え合いの活動を行いました。



令和2年度 決算

●収入の部 (単位: 円)	
科目	決算額
会費収入	1,943,900
寄付金収入	293,172
経常経費補助金収入	26,440,000
受託金収入	3,970,175
貸付事業収入	36,169
事業収入	18,000
介護保険事業収入	78,757,641
障がい福祉サービス等事業収入	8,641,623
受取利息配当金収入	3,165
その他の収入	1,304,315
積立資産取崩収入	643,000
その他の活動による収入	2,802,590
収入合計	124,853,750

●支出の部 (単位: 円)	
科目	決算額
人件費支出	90,138,991
事業費支出	3,829,609
事務費支出	13,588,712
共同募金配分金事業費支出	653,700
助成金支出	747,000
負担金支出	60,000
その他の支出	1,167,229
固定資産取得支出	685,500
基金積立資産支出	271,150
積立資産支出	855,000
その他の活動による支出	3,551,620
支出合計	115,548,511
当期資金収支差額	9,305,239

●「地域の相談ステーションもっともっと」 (福祉総合相談事業他)

多様化する福祉問題に対し、【だれもが困りごとをいつでも相談ができる相手がいること】、【地域の困りごととして地域で支え合える仕組みづくりを共に目指すこと】、を目的に町内5地域に地区担当を配置し、総合相談機能を強化しました。

いつでも相談できる・相談できる相手がいる地域を目指し、「もっともっと地域のことを知る」「もっともっと地域のことを考える」「もっともっと地域の福祉の充実を図る」「もっともっと地域から必要とされる社協になる」を目標に、伴走型の相談支援体制づくりを進めました。(令和2年度福祉総合相談件数2,528件(前年度比+730件))

担当地区職員紹介

【氏名・所属】

- ＜仙石原地区＞**
格登 拓也(総務係) 地域包括支援センター主任介護支援専門員 仙石原地区担当
- ＜宮城野地区＞**
山本 久乃(事業係) 地域包括支援センター主任介護支援専門員 宮城野地区担当
- ＜温泉地区＞**
樋口 聡美(サービスセンター) 地域包括支援センター主任介護支援専門員 温泉地区担当
- ＜箱根地区＞**
菅川 博孝(サービスセンター) 地域包括支援センター主任介護支援専門員 箱根地区担当
- ＜湯本地区＞**
山崎 和子(サービスセンター) 地域包括支援センター主任介護支援専門員 湯本地区担当
- ＜生活支援コーディネーター＞**
箱根町全域
- ＜箱根町全域＞**
井上 靖雄 菅我 菜々子 和田 猛

●「地域のことを話し合う会」「生活支援サービスの推進」 (地域福祉推進事業・生活支援コーディネーター事業他)

社会福祉協議会本来の目的である地域福祉の推進を図るため、各地区でのサロン活動等住民主体の活動の支援を強化したほか、箱根町から受託している生活支援コーディネーター事業を中心に、町内の各地区において「地域のことを話し合う会」が開催され、各地域の課題を地域の皆様と考え、解決するためにどうすればいいかの話し合いを続けています。

仙石原地区では、住民による住民のための移送サービスが検討され、「ここにこ号」として地域を巡回するコミュニティバス活動が始まりました。

各地区の地域性や地域の困りごとを、住民の皆さまと考え、ともに解決する地域づくりを行いました。



●「適正な法人運営の実施」(法人運営事業他)

令和2年度の事業実施にあたっては、確実かつ効率的な運営による経費の削減を目指すと同時に、地域包括支援センターの人員強化等、地域性や福祉課題に合わせた機能強化を図ってまいりました。また箱根町の地域福祉計画をより具体的に進めていく5か年計画である「地域福祉活動計画」を策定し、令和3年度以降の福祉のまちづくりに向けた計画策定を行いました。社会福祉法人として、箱根町内の健全な福祉サービスの充実に向けた運営を行いました。



氏名	選出団体
川久保一徳	デンマークイン箱根
井上 弘信	なごみの郷
山谷 洋子	やまゆり会(サロン団体)
鈴木 美貴	箱根町人権擁護委員会
勝又 實	箱根町老人クラブ連合会
山本 房子	箱根町更生保護女性会
鈴木 純一	箱根町赤十字奉仕団
渡辺 朝文	箱根町観光協会
田畑 昭	箱根ライオンズクラブ
山田 敏理	箱根ロータリークラブ
安藤 正博	箱根町
西田 孝予	箱根町小・中学校校長会
大澤 仁	小田原医師会

令和3年9月30日現在(敬称略・順不同)

◆常務理事

氏名	選出団体
小杉 芳春	会員

◆監事

氏名	選出団体
熊谷 重明	箱根町自治会連絡協議会
村山 一郎	箱根町

◆評議員

氏名	選出団体
石村 晶一	箱根町自治会連絡協議会
三谷 信之	箱根町自治会連絡協議会
廣枝 三千ル	箱根町女性会連絡協議会
加藤 修司	箱根町民生委員児童委員協議会
勝俣 晶子	箱根町民生委員児童委員協議会
星野 洋子	箱根町民生委員児童委員協議会
川口 満子	箱根町民生委員児童委員協議会

◆会長

氏名	選出団体
對木 一郎	会員

◆副会長

氏名	選出団体
元波 英敏	箱根町自治会連絡協議会
松井 洋子	箱根町ボランティア連絡協議会

◆理事

氏名	選出団体
内田 良雄	箱根町自治会連絡協議会
工藤サチ子	箱根町女性会連絡協議会
村上ちず子	箱根町民生委員児童委員協議会
梶田 寛人	強羅暁の星園
安藤 健	大平台あじさいの会
倉田 義巳	箱根温泉旅館ホテル協同組合
伊藤 和生	箱根町

町民の皆さまと一緒に、地域の福祉活動推進に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

役員・評議員の紹介



Youtuber 始めました！ 福祉教育動画配信 ～車いす編～



社会福祉協議会は、コロナ禍での新たな取り組みとして、観光を取り入れた福祉教育のオンライン化（youtubeでの動画配信）を開始しました。

箱根町内及び周辺地域のサービス業（ホテル・旅館・レストラン等）の職員研修に使用できる動画をわかりやすいドラマ仕立てで作成し、車いすを使う人への配慮や、手伝い方、支援方法について考えるきっかけを作り、箱根町内及び他地域で誰もが安心して楽しめる観光地、誰もが住みやすい優しい町作りを目的として実施しています。

内容は、車いすを使用し生活をしている方が、一人で箱根へ旅行に行くという設定。

実際に生活していく中で感じている困りごとや、どんな手助けが必要で、どんな声掛けをされたら嬉しいのかなど、この動画を通して一人でも多くの方に知ってもらうことで、困っている人を見かけたときなど声をかけるひとつのきっかけになってくれたらいいなと思っています。

今後も電車編や手話編など、動画のシリーズ化を進めていく予定です。

制作にあたっては様々な方々のご協力を頂きました。

〈協力団体〉小田原青年会議所、神奈川県西地区リハビリテーション協議会teamリハもん、箱根町長、株式会社リフテック、武藤晴美さん、紅葉会、人力車海風屋
〈撮影協力〉吉池旅館、Café Timuny

ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました！



←動画「ふくし教育×観光～車いす編～」はこちらからご覧ください。
または、Youtubeはこね社協チャンネル、箱根町社会福祉協議会のホームページ掲載のURLからもご覧いただけます。



コロナに負けずに大活躍！ ～はこね社協のはらぺこ救助隊！～



昨年より実施しているはらぺこ救助隊。今年の夏休みも、小学生までのお子さんのいる世帯を対象に8月の毎週金曜日に実施しました！

はこね社協のはらぺこ救助隊は、コロナ禍が続く中、夏休み中の子供たちの見守りも兼ねて、地元の商店のご協力のもとお弁当を子供たちにお届けする事業です。

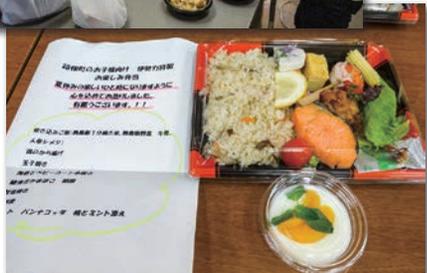
美味しそうなお弁当に子供たちも笑顔に😊

また、今回は併せて、コロナ禍でがんばってくれている町内の医療従事者の方々への応援として、子供たちにメッセージカードと、医療従事者への感謝・コロナでの差別をなくす等の意味を持つシトラスリボンの作製に協力してもらいました。

子供たちが一生懸命作ってくれたリボンとメッセージカードは、社会福祉協議会でとりまとめて、町内の各医療機関へ寄贈する予定です。

**まだまだ終わりの見えない日々ですが、
みんなで協力し乗り越えていきましょう！**

**沢山のご応募、また、ご協力いただいた皆様、
本当にありがとうございました！**



～お弁当の協力店の紹介～

- 田むら銀かつ亭様
- kitchenBar 元気食堂様
- 箱根かれ一心様
- 強羅伊勢力様

(順不同)

